



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻 200

TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 <https://www.seisen-h.ed.jp>

カイロス

καίρος

第82号

2024年4月19日発行

一〇二四年度に漕ぎ出そう



校長
小川 幸子

一八三名の八十期新入生を迎えて新年度がスタートしました。中一の皆さんの新生活が実り多いものとなるように、心からお祈りしています。

さて、中学入試のころ、NHKのニュース番組で、今年は少子化の影響で首都圏の中学受験者数は減った一方で、受験率は上がったと報じられました。その理由として、保護者や受験生の間で私立中学の教育に対する期待があり、特に「新しい教育」、つまり「理数ICT教育」、「探究活動」、そして「多様な大学入試に対応した進路指導」に期待が集まっているということが挙げられていました。私学である清泉もこれらの「新しい教育」を重視して強化してきました。特にこの四月からはプログラミング教育（中一対象）、放課後学習室拡大等、今までにない取り組みがスタートします。

しかし、時代のニーズに合った教育をすることは必要ですが、そこに学校としての理念がなければ、時代の流れに翻弄されるばかりになります。多くの私立学校が

同じようなことを行っている中で、清泉はどのような意図や目的を持って取り組むのでしょうか、そしてそれはどのように学校の理念とつながるのでしょうか。

例えばICT・理数教育です。ICTスキルや理系の知識や力が将来社会に出ていく皆さんに必要不可欠であることは明白ですが、清泉では更に身に着けたスキルや知識を周囲の人、困っている人のために（聖ラファエラ・マリアの言葉にすれば「周囲の人の幸せのために」）使えるようになってほしいと考えています。実際、清泉では生徒主体のICT委員会、AI倫理会議が活動していますが、ただのスキル向上ではなく、「人として」どのように使うべきかを考えるこのような活動が早くからスタートしていたのは、誇らしいことだと考えています。ICT・理系教育の目的は社会貢献です。ICTやAIが既に人間の代わりを務める分野も多くなりました。知識量や分析力のような分野では人間はもはやテクノロジーに対抗できません。そうになると、本当に大事なことはテクノロジーをどのように使うか、であり、人間とAI・ICTとの違いを理解して、人間だからこそできることを探究すること、になります。矛盾するようですが、テクノロジーが進めば進むほど、求められるのは人間性です。

また、多様化する進路指導については、清泉では以前から一般受験だけでなく、総合型選抜等進学を目指す生徒の指導にも丁寧に対応してきました。これは、一人一人が神様から愛された大切な存在であり、それぞれに異なったタレントが与えられていて、それを活かすことが私たちの使命である、というミッションスクールの理念に基づいています。生徒の意思を尊重し、特性や興味関心を大事にした進路指導を行ってきた成果として、清泉の卒業生の進路は実に多彩です。また、興味があることを真摯に学び続け、その結果、大学で成績優秀者として表彰される人も少なからずおり、嬉しく思っています。今、そのような指導が「新しい教育」とされ、注目を集めつつありますが、実は清泉では伝統のように行われてきたことなので、二〇二四年度の新学期が始まりました。世界の変化に伴い学校教育も変化しますが、「一人一人を大事に」、「周囲の人の幸せのために」という軸は変えずに前へ漕ぎ出しましょう。

デジタルサイネージ設置（72期卒業記念品）



職員出入口脇



講堂ロビー正面



◆ INSIDE ◆

- ② 進路指導・研究部から・年間行事予定・新担任紹介 ③ 大学合格実績・清泉百花百景 小磯雅人先生
④⑤ 清泉女学院生主催 中高生AI倫理会議 これまでの軌跡 ⑥ 学生生活進行形 東京大学 白坂翠萌さん ⑦ 短信・賞・異動